

1年生授業参観で「学習発表会」 総合学習の「人権」個人課題研究を発表

校長 小木曾敏樹

先週の24日(金)、本年度最後の授業参観を1年生で行いました。「総合的な学習の時間」に取り組んできた「人権」に関する個人課題研究の学習発表会です。昨年10月に3年生が「長崎研修学習発表会」を、今年の1月に2年生が「職場体験学習の発表会」、3年生が「進路学習」についての発表を行いました。最後が1年生のこの発表会です。

本年度より、「総合的な学習の時間」の学習内容を変え、テーマを「生きる」としました。1年生は、「共に生きる」いじめや人権問題に取り組みました。2年生は「職業に生きる」職業調べや職場体験学習などに取り組みました。3年生は「状況に生きる」平和学習や進路学習に取り組みました。

とても多くの保護者の方が参観くださり、教室に入らず廊下から参観する方がいるほどでした。発表は個人発表で教室を二つに分けて、前と後ろで同時に2人が発表しました。

2年後の発表に期待膨らむ

いじめ問題、老人問題、外国人差別、アイヌ差別、高齢者問題、難民問題、女性差別、児童虐待、エイズ問題、ハンセン病差別、水俣病差別、貧困、原発・震災差別問題、犯罪者への差別、犯罪被害者、戦争、ネットと人権の問題・・・これらは、1年生が個人課題として研究したテーマの一部。こんなにも多くの「人権」に関わる問題が、この平和な日本にはある。

これらのテーマについて調べたことをまとめ、堂々と発表することができました。とてもよく調べてあり、自分の考えや想いもしっかりと入れてあり、立派な研究と、立派な発表でした。中には、原稿など見ずにすらすらと発表する人もいて感心しました。来年の「職業に生きる」の発表、そして、2年後の「長崎研修学習発表会」がとても楽しみです。きっと、素晴らしい研究と発表をしてくれると確信します。

始めと終わりの挨拶・礼、資料の見せ方・使い方、話すスピードと表現力、そして、原稿なしでもできたはずなのに原稿を読んでしまったこと、聞く人に目を向けること、来年は改善できると最高の発表になりますよ。

